

# 2019年度 第2四半期決算と 通期業績予想

2019年11月14日  
日本軽金属ホールディングス株式会社

## 1. 2019年度 第2四半期決算

## 2. 2019年度 連結業績予想

## 3. 中期経営計画 進捗

## 第2四半期決算 — 前年同期比

(億円)

	2019/4-9 実績	2018/4-9 実績	増減
売上高	2,316	2,453	△137 (△5.6%)
営業利益	117	142	△25 (△17.4%)
経常利益	115	147	△32 (△21.9%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	77	101	△24 (△24.2%)

## セグメント情報 — 前年同期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2019/4-9 実績	2018/4-9 実績	増減	2019/4-9 実績	2018/4-9 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	528	600	△72 (△11.9%)	63	56	+7 (+12.3%)
板、押出製品	505	525	△20 (△3.9%)	12	37	△25 (△67.3%)
加工製品、 関連事業	832	863	△31 (△3.7%)	44	46	△2 (△5.1%)
箔、粉末製品	451	465	△14 (△3.0%)	15	19	△4 (△21.6%)
管理・共通	—	—	—	△17	△16	△1
合 計	2,316	2,453	△137 (△5.6%)	117	142	△25 (△17.4%)

# 目次

1. 2019年度 第2四半期決算

2. 2019年度 連結業績予想

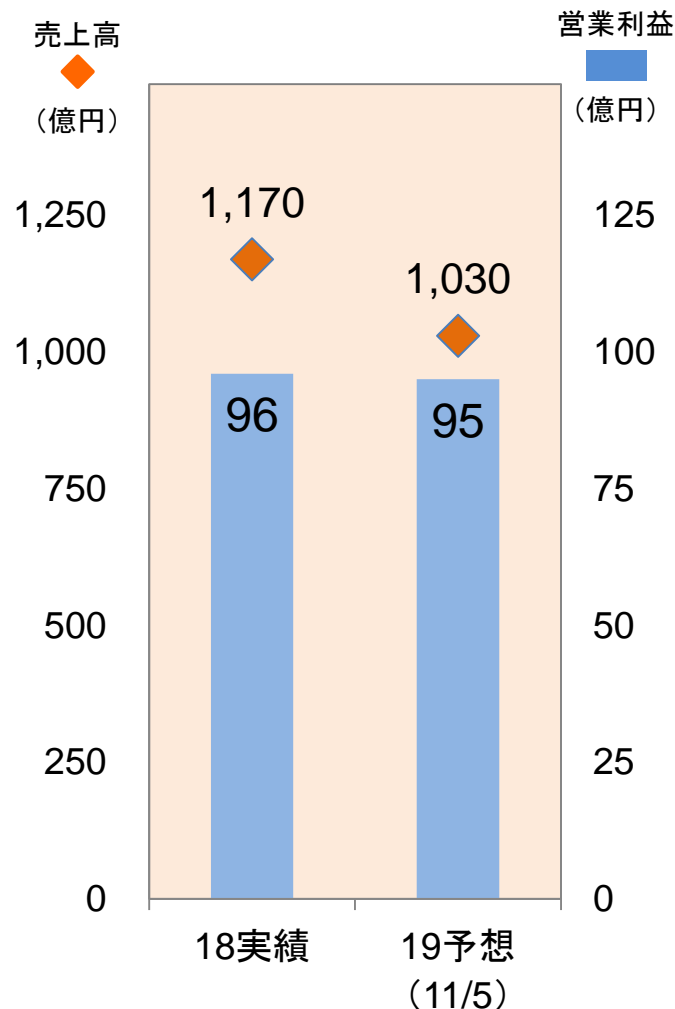
3. 中期経営計画 進捗

## 通期業績予想 — 前期比

(億円)

	2019年度 予想 (11/5)	2018年度 実績	増減
売上高	4,700	5,005	△305 (△6.1%)
営業利益	250	301	△51 (△16.8%)
経常利益	240	311	△71 (△22.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	155	206	△51 (△24.6%)
R O C E	8.1%	10.8%	△2.7p

# アルミナ・化成品、地金



## アルミナ・化成品

- 水酸化アルミニウム：半導体関連 需要減少
- 化学品関連：凝集剤・有機塩化物向け販売堅調
- 前年期中実施の価格転嫁効果

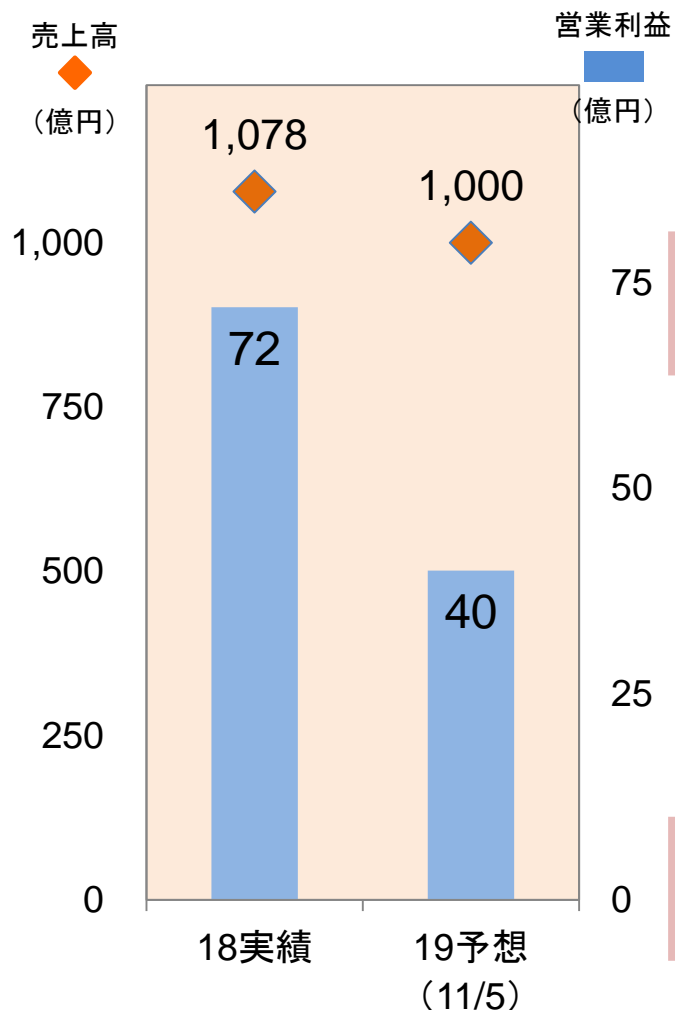
## 日軽エムシーアルミ

- 国内：自動車の需要減少と中国汎用合金流入による価格競争で販売減
- 米国：販売堅調
- 中国：自動車関連は需要減少で販売減も  
電機電子向け高付加価値品や開発合金は販売増
- タイ：自動車関連の需要減少により販売減

日軽エムシーアルミ販売量 (千トン)

	19年度 上期			19年度 下期			19年度 合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
国内	64.2	69.5	△8%	63.6	70.8	△10%	127.8	140.3	△9%
海外	69.5	76.5	△9%	70.3	71.4	△2%	139.8	147.9	△5%
合計	133.7	146.0	△9%	133.9	142.2	△6%	267.6	288.2	△7%

# 板、押出製品



## 板

- 半導体関連 : 製造装置 投資減少により販売減
- 環境対応車関連 : 顧客の発注先送りにより販売減

板事業部販売量 (千トン)

19年度	上期			下期			合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	38.7	41.7	△7%	40.2	44.7	△10%	78.9	86.4	△9%

## 日軽金アクト

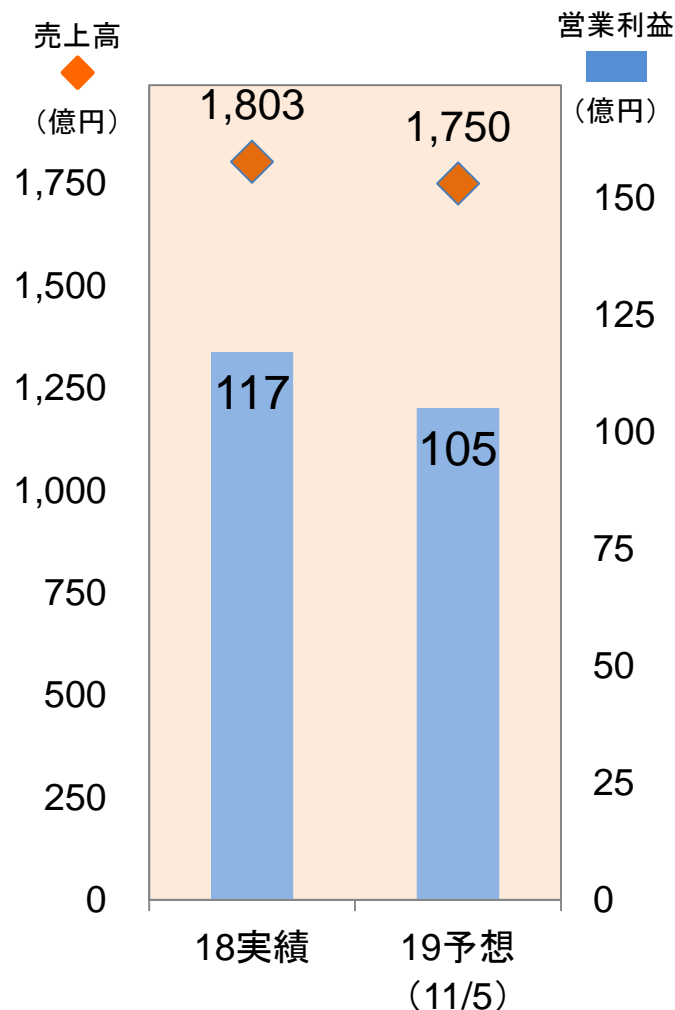
- 自動車関連 : 国内・中国での需要減少により販売減
- 半導体関連 : 製造装置 投資減少により販売減
- 輸送関連 : 鉄道向けなど堅調に推移

日軽金アクト販売量 (千トン)

19年度	上期			下期			合計		
	実績	前年	増減	予想	前年	増減	予想	前年	増減
	18.8	19.7	△5%	18.5	20.3	△9%	37.3	40.0	△7%



# 加工製品、関連事業



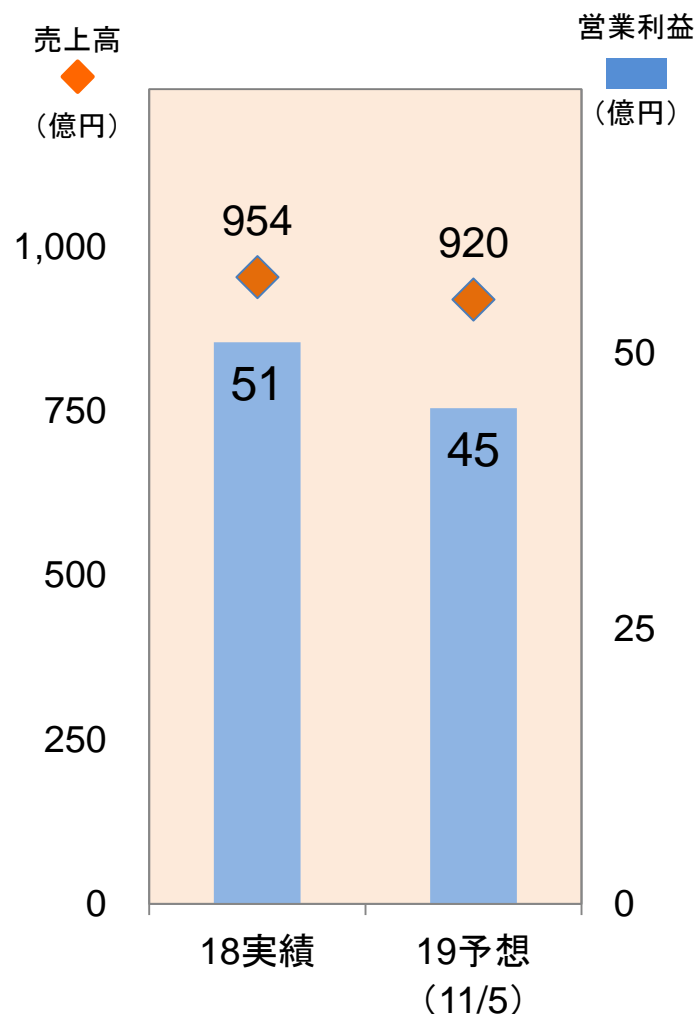
## 日本フルハーフ

- **トラック** : 小型車が排ガス規制施行前駆け込み需要で一時増も、全体需要は漸減傾向
- **トレーラー** : モーダルシフトによる需要拡大もあり受注堅調
- **厚木再構築**による生産性向上効果の具現

## 日軽パネルシステム

- **冷凍・冷蔵分野** : 食品工場でのHACCP制度化や物流施設再配置による新築・改修増
- **クリーンルーム** : 高齢化の進展やジェネリック市場拡大に伴う医療・医薬分野の需要増 継続
- **建設資材不足**が一時期影響も、受注好調が継続

# 箔、粉末製品



## 東洋アルミニウム

### <箔事業>

- リチウムイオン電池外装用箔：パソコン・スマートフォン向けは苦戦も、車載向けは販売増
- コンデンサ用箔：パソコンの需要減少により販売減

### <パウダー・ペースト事業>

- 自動車塗料向け、放熱用途向け：販売減
- 高付加価値品：印刷向けインキ用等で堅調継続

### <ソーラー事業>

- バックシート：中国政府の支援策縮小により販売低迷

# 目次

1. 2019年度 第2四半期決算

2. 2019年度 連結業績予想

3. 中期経営計画 進捗

## 数値目標

	2018年度 実績	2019年度 予想 <sub>(11/5公表)</sub>	2021年度 目標 <small>(億円)</small>
売上高	5,005	4,700	5,400
営業利益	301	250	375
経常利益	311	240	370
親会社株主に帰属する 当期純利益	206	155	240
R O C E	10.8%	8.1%	11.4%

&lt;前提&gt;

アルミ地金: 260 円/kg

為替: 110 円/US\$

# 中期経営計画基本方針

## チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

### <基本方針>

#### 1. 新商品・新ビジネスの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求し、すべての顧客の新しい価値を創造
- ものづくりを核としサプライチェーン全体を通じた商品・ビジネス開発

#### 2. 成長に向けた資源投入

- グループの強みを活かせる分野・地域へより積極的に資源を投入
- ビジネスに応じた俊敏な組織運営と外部資源の活用

#### 3. 経営基盤強化

- 安全優先とコンプライアンス・品質遵守の徹底
- 持続的な企業価値向上のための人財拡充

# 新商品・新ビジネスの創出

分野	事業部門	商品
自動車	日本軽金属、日軽金アクト	環境対応車向けバッテリー冷却プレート
	日本軽金属	リチウムイオン電池材料、低ソーダアルミナ
	東洋アルミニウム	シリカ処理品、リチウムイオン電池正極箔
輸送	日本フルーフ	小型軽量バン、整備・サービス
電機電子 ・情報通信	日本軽金属	リチウムイオン電池材料
	日本軽金属、日軽金アクト、東陽理化学研究所	半導体製造装置関連
	日本軽金属、日軽パネルシステム	データセンター関連
環境・安全 ・エネルギー	日本電極	リチウムイオン電池負極材
	東洋アルミニウム	次世代型太陽電池向け材料、軽量モジュール
その他	日本軽金属、東洋アルミニウム	医療機器向け箔
	日本軽金属、日軽パネルシステム	医療施設向けパネル、整備・サービス
	日本軽金属、東洋アルミニウム、日軽金アクト	3Dプリンター向け材料
	日軽産業、理研軽金属工業	自動車販売店舗向け建材
	日本軽金属、東洋アルミニウム、日軽金アクト、住軽日軽エンジニアリング	インフラ長寿命化

## 成長に向けた資源投入

地域	分野	事業展開	事業部門
中国	自動車	環境対応車関連商品設備投資	日軽金アクト
インド	自動車	二次合金 製造・販売 第2・第3拠点設立	日軽エムシーアルミ
北米	自動車	自動車向け部材 製造・販売拠点設立	日本軽金属、日軽金アクト
タイ	電機電子	高付加価値品生産能力増強	ニッケイサイアム
日本	輸送、食品健康他	サービス機能拡充	日本フルハーフ、日軽パネルシステム
	電機電子他	窒化アルミ生産能力増強	東洋アルミニウム
	自動車他	塗料 セントラルラボ設置	東洋アルミニウム
	食品健康	紙容器生産能力増強	東洋アルミニウム
	食品健康、 電機電子	エンジニアリング開発センター建設	日軽パネルシステム
	その他	アルミナ・水酸化アルミ生産能力増強	日本軽金属

# 新商品・新ビジネスの創出

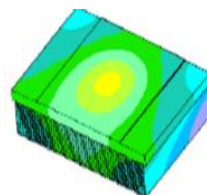
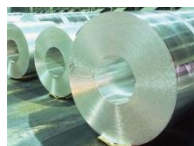
分野	事業部門	商品
自動車	日本軽金属、日軽金アクト	環境対応車向けバッテリー冷却プレート
	日本軽金属	リチウムイオン電池材料、低ソーダアルミナ
	東洋アルミニウム	シリカ処理品、リチウムイオン電池正極箔
輸送	日本フルーフ	小型軽量バン、整備・サービス
電機電子 ・情報通信	日本軽金属	リチウムイオン電池材料
	日本軽金属、日軽金アクト、東陽理化学研究所	半導体製造装置関連
	日本軽金属、日軽パネルシステム	データセンター関連
環境・安全 ・エネルギー	日本電極	リチウムイオン電池負極材
	東洋アルミニウム	次世代型太陽電池向け材料、軽量モジュール
その他	日本軽金属、東洋アルミニウム	医療機器向け箔
	日本軽金属、日軽パネルシステム	医療施設向けパネル、整備・サービス
	日本軽金属、東洋アルミニウム、日軽金アクト	3Dプリンター向け材料
	日軽産業、理研軽金属工業	自動車販売店舗向け建材
	日本軽金属、東洋アルミニウム、日軽金アクト、住軽日軽エンジニアリング	インフラ長寿命化



# 素材・設計・加工の一気通貫で最大価値提供

## トータルソリューション

### 日軽金グループの環境対応車向け熱デバイスビジネス



アルミ材料技術  
<特徴を活かした材料>

熱解析技術  
<最適設計>

素材から加工で熱対策

フィン成型技術

接合技術

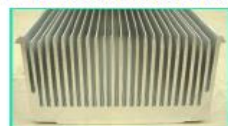


モーター制御用パワーデバイス冷却

バッテリー冷却プレート

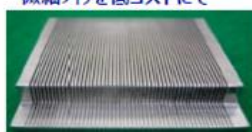
押出

長年蓄積された技術/ノウハウ



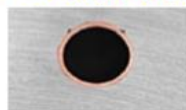
マイクロフィン加工

微細フィンを低コストにて



ハーフ埋設

F S W技術の応用



各種接合

ろう付け、固相接合



## 成長に向けた資源投入

地域	分野	事業展開	事業部門
中国	自動車	環境対応車関連商品設備投資	日軽金アクト
インド	自動車	二次合金 製造・販売 第2・第3拠点設立	日軽エムシーアルミ
北米	自動車	自動車向け部材 製造・販売拠点設立	日本軽金属、日軽金アクト
タイ	電機電子	高付加価値品生産能力増強	ニッケイサイアム
	輸送、食品健康他	サービス機能拡充	日本フルハーフ、日軽パネルシステム
	電機電子他	窒化アルミ生産能力増強	東洋アルミニウム
	自動車他	塗料 セントラルラボ設置	東洋アルミニウム
日本	食品健康	紙容器生産能力増強	東洋アルミニウム
	食品健康、 電機電子	エンジニアリング開発センター建設	日軽パネルシステム
	その他	アルミナ・水酸化アルミ生産能力増強	日本軽金属

# 技術力と日本での実績を活かして拡大

## 一大消費地中国に環境対応車向け商材基地拡充

### 【事業展開】

既存 日軽上海汽車の工場に増設

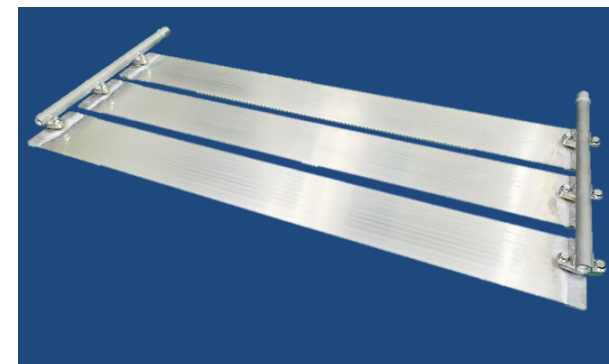
- ・ 投資額 5億円
- ・ 日程 2020年SOP (段階的に拡大)

### 【市場環境】

中国NEV規制による環境対応車の需要増

### 【日軽金グループの強み】

日本での採用実績による技術の蓄積  
難形状・高精度押出、機械加工技術、  
歪みのない高周波接合、組立技術



バッテリー冷却プレート

# 地産地消をベースに海外に飛躍

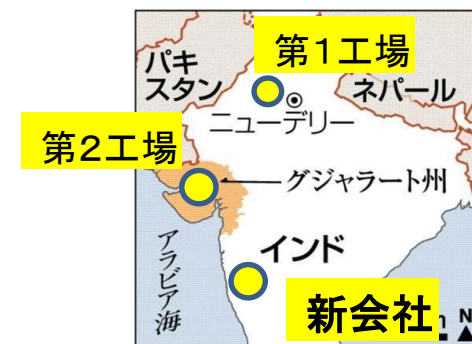
## リサイクルで環境に配慮した自動車ニーズに応える

### インド展開

#### 【事業展開】

第2工場稼働(2019年4月) 生産能力38,400t/年  
 新会社設立(2019年予定) 生産能力36,000t/年  
 投資額 13億円 2021年生産開始

【事業環境】 インドの自動車市場成長、日系メーカー進出



### ラインフェルデン社(ドイツ)との製造・販売連携強化

#### 【事業展開】

全世界のお客様に幅広い素材提案の実現

#### 【事業環境】

車体軽量化および動力のダウンサイジング  
 (用途: フレーム材、バッテリーケース材、ヒートシンク材など)



# 日・中・米の3極体制でグローバル供給

## 全世界供給に向け現地製造・販売会社へ進化 (北米)自動車向け足回り部品ビジネス

### 【事業展開】

自動車アルミ足回り部品 製造・販売の合併会社

Nippon Light Metal Georgia, Inc. (略称:NLMGA)

2019年11月1日設立

投資額 50億円

販売開始 2020年、生産開始 2022年

事業規模 80億円(2027年 計画)

### 【日軽金グループの強み】

日本・中国での採用実績による技術の蓄積  
設計・合金・鋳造・押出・鍛造・加工一貫技術



# お客様の満足を追求する

## 全世界への自動車用塗料価値創造基地

### 【成長投資】

新庄製造所内に新規セントラルラボ建設

### 【目的】

世界の自動車用塗料ニーズ(=新色ニーズ)に応える  
新スプレーブース導入により顧客と同じ評価が可能  
研究・開発体制の集約  
顧客技術者との交流

### 【セントラルラボの概要】

投資額 8億円

2019年11月 研究開発及びスプレーブース稼動

2020年1月 品質保証検査、分析業務開始



# 持続可能な社会の実現への取り組み

## 安全

- ❖ 安全・安心な製品・サービス
- ❖ 安全なまち
- ❖ 安全な食・医療

## 環境

- ❖ ライフサイクルでの炭素排出量削減
- ❖ リサイクル材の一層の活用
- ❖ 再生可能エネルギーの活用
- ❖ 省エネルギー投資

## 重要課題の 選定に着手

## 品質

- ❖ 確かな検査・試験体制
- ❖ 持続的な品質保証システム

気候変動  
リスク・機会

脱炭素社会へ

## アルミで取組むSDGs

新たな商品・サービス、新たな市場、新たな価値を



2 飢餓をゼロに  
コールドチェーン



3 すべての人に健康と福祉を  
医薬向け包材



6 安全な水とトイレを世界中に  
水処理剤



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
リチウムイオン電池関連素材



11 住み続けられるまちづくりを  
橋梁検査路



13 気候変動に具体的な対策を  
アルミリサイクル



徹底したコンプライアンス



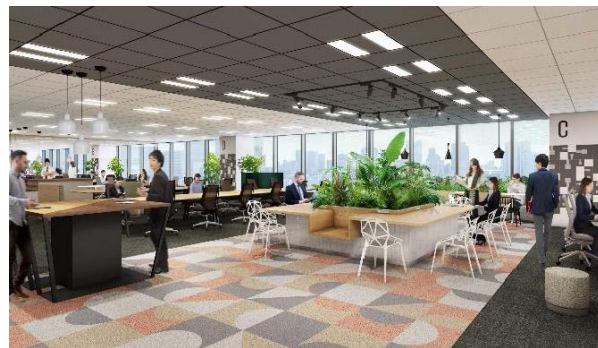
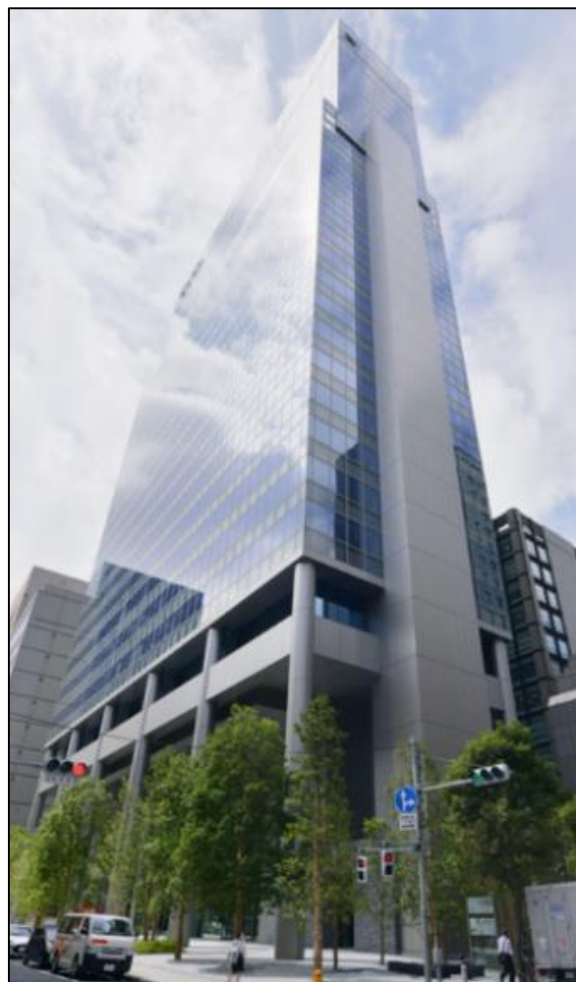
2018 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数



# 「チーム日軽金」として、一層強い企業グループへ

2019年12月3日 本店移転

お客様にとっての新しい価値を  
創造し続けるために



アーバンネット内幸町ビル  
住所：東京都港区新橋一丁目1番13号





チーム日軽金として異次元の素材メーカーへ

# **NLM 日本軽金属ホールディングス**

## 本資料についての注意事項

1. 本資料は2019年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

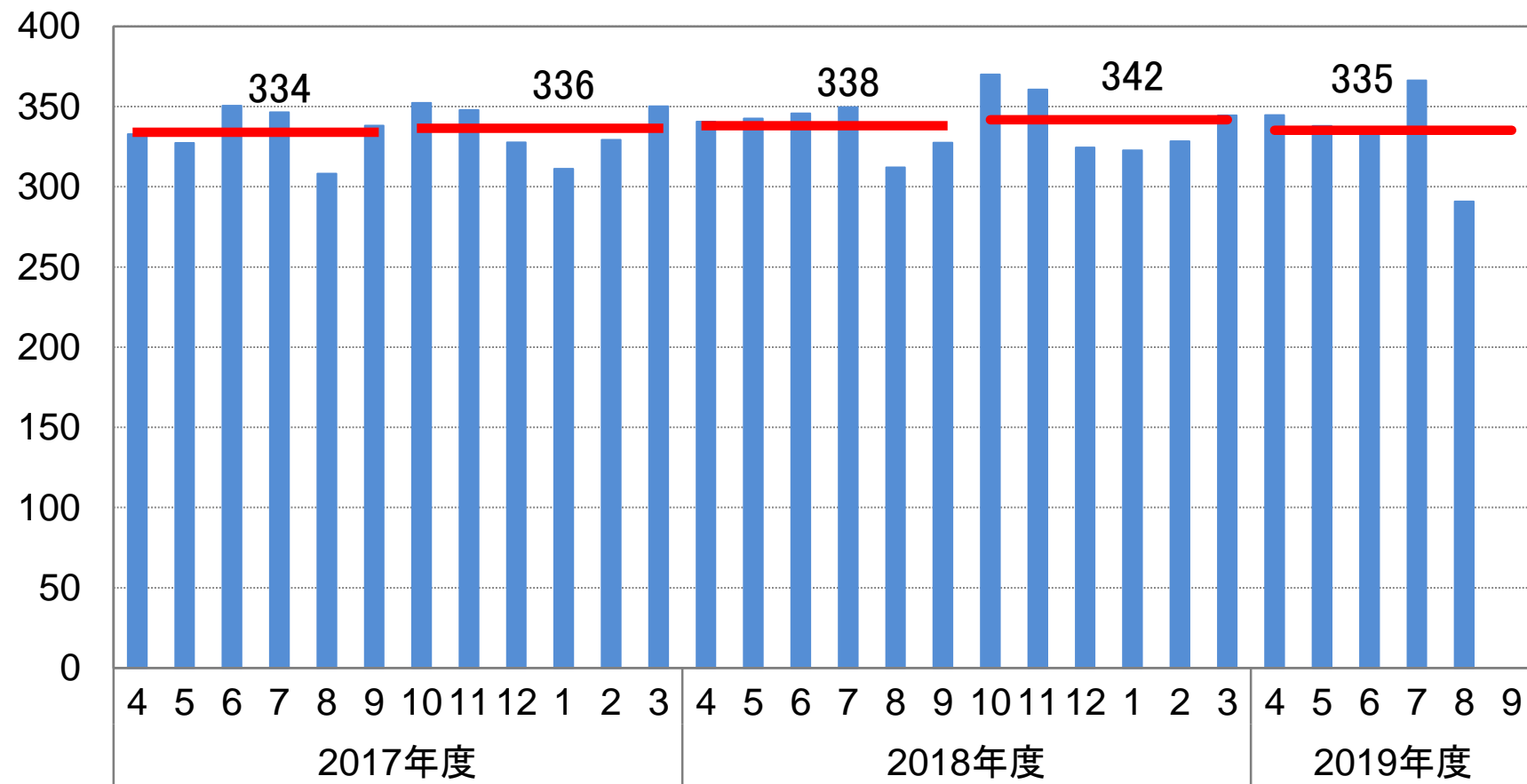
# 補足資料

# 諸元と感応度

	2018年度 実績	2019年度 予想	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	284	245	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	111	110	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	70	65	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

# 国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)



<出所: 日本アルミニウム協会>

# 経常利益

(億円)

	2019/4-9 実績	2018/4-9 実績	前年同期比	2019/4-9 期初予想	期初予想比
経常利益	115	147	△32	125	△10

## 前年同期比 △32億円 の内訳

営業利益	△25
為替差損益	△5
その他	△2

## 期初予想比 △10億円 の内訳

営業利益	△13
その他	+3

## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)

	2019/4-9 実績	2018/4-9 実績	前年同期比	2019/4-9 期初予想	期初予想比
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	77	101	△24	85	△8

## 前年同期比 △24億円 の内訳

経常利益	△32
特別損益	△5
税金費用	+15
少数株主損益	△2

## 期初予想比 △8億円 の内訳

経常利益	△10
税金費用	+6
少数株主損益	△4

## セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2019年度 予想 (11/5)	2018年度 実績	増減	2019年度 予想 (11/5)	2018年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,030	1,170	△140 (△12.0%)	95	96	△1 (△1.2%)
板、押出製品	1,000	1,078	△78 (△7.3%)	40	72	△32 (△44.1%)
加工製品、 関連事業	1,750	1,803	△53 (△2.9%)	105	117	△12 (△10.1%)
箔、粉末製品	920	954	△34 (△3.5%)	45	51	△6 (△12.0%)
管理・共通	—	—	—	△35	△35	±0
合 計	4,700	5,005	△305 (△6.1%)	250	301	△51 (△16.8%)



## セグメント情報 — 期初予想比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2019年度 予想 (11/5)	2019年度 期初予想	増減	2019年度 予想 (11/5)	2019年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,030	1,190	△160 (△13.4%)	95	115	△20 (△17.3%)
板、押出製品	1,000	1,020	△20 (△2.0%)	40	60	△20 (△33.3%)
加工製品、 関連事業	1,750	1,850	△100 (△5.4%)	105	110	△5 (△4.5%)
箔、粉末製品	920	1,040	△120 (△11.5%)	45	60	△15 (△25.0%)
管理・共通	—	—	—	△35	△35	±0
合 計	4,700	5,100	△400 (△7.8%)	250	310	△60 (△19.4%)

## 主要会社の業績

(億円)

	2019年度 予想(11/5)			2019年度 期初予想			2018年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,277	31	78	1,451	52	92	1,430	39	79
東洋アルミニウム (連結)	923	45	50	1,047	60	63	959	50	55
日軽エムシーアルミ (連結)	582	22	25	684	29	31	696	27	28
日本フルーフ (連結)	690	18	19	700	20	20	724	17	19
日軽金アクト (連結)	424	15	15	463	24	26	468	24	27

## 主要会社の業績 — 前年同期比

(億円)

	2019年度第2四半期			2018年度第2四半期		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	634	22	70	727	31	68
東洋アルミニウム (連結)	453	15	18	468	18	23
日軽エムシーアルミ (連結)	295	11	11	357	15	16
日本フルハーフ (連結)	358	13	13	361	6	7
日軽金アクト (連結)	210	4	4	230	11	12

## 設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2019年度 予想(11/5)	2018年度 実績	差異	2019年度 予想(11/5)	2018年度 実績	差異
アルミナ・化成品、地金	100	121	△21	41	36	+5
板、押出製品	70	50	+20	53	51	+2
加工製品、関連事業	89	63	+26	49	46	+3
箔、粉末製品	55	65	△10	44	40	+4
合計	314	299	+15	187	173	+14

